



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月4日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3360 URL <http://www.shiphd.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)古川 國久
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画室長 (氏名)横山 裕司 TEL 06-6369-0130
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	160,715	24.9	8,832	30.2	9,566	25.1	5,796	29.0
24年3月期第3四半期	128,698	14.2	6,785	41.4	7,649	35.3	4,492	1.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 5,985百万円(61.3%) 24年3月期第3四半期 3,710百万円(△17.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年3月期第3四半期	円 銭 140.48	円 銭 140.36
24年3月期第3四半期	108.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
25年3月期第3四半期	百万円 135,275	百万円 39,607	% 29.0
24年3月期	129,989	35,256	26.7

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 39,244百万円 24年3月期 34,738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 35.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 5円00銭

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	218,000	15.4	12,000	18.4	12,750	13.3	7,500	6.7	181.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	41,283,400株	24年3月期	41,259,500株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	2,800株	24年3月期	2,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	41,263,870株	24年3月期3Q	41,256,700株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・平成25年3月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益の計算の基礎となる期中平均株式数につきましては、平成25年1月31日までの新株予約権の行使による増加株式数を反映させておりますが、平成24年11月5日に公表致しました「連結子会社との会社分割（簡易分割・略式分割）に対する反対株主からの自己株式買取請求に関するお知らせ」に基づく影響は含めておりません。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要の継続等により緩やかな回復もみられましたが、世界景気の減速等を背景として、弱い動きで推移しております。また、衆議院解散・総選挙が行われた結果、民主党から自民党へ政権交代したことにより大きく政治体制が変わり、先の見通しは予断を許さない状況が続いております。

当社グループの属する医療業界におきましては、診療報酬が増額改定となった一方で、薬価・償還価格の引き下げにより医薬品や医療機器の価格下げ圧力は厳しい状況が続いております。また、平成27年10月には消費税率が10%にまで引き上げられる見通しとなり、将来の社会保障費増大に対する財源の確保が課題となっております。

このような経済状況の下、当社グループにおきましては、大型プロジェクト案件が引き続き好調に推移するとともに、自社製品の販売が堅調に推移いたしました。また、診療材料の販売につきましては、薬価及び償還価格の引き下げがあったものの、新たな受注先を獲得しシェアを拡大したことにより、利益額を確保いたしました。一方、介護施設運営におきましては、既存7施設が順調に推移したものの、昨年度M&Aを行った介護施設が構造改革中である影響を受けるとともに、新たな投資に伴う先行費用が発生いたしました。また、調剤薬局事業におきましては、M&A等により店舗数が増加したことで売上高が増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は160,715,464千円（前年同四半期連結累計期間比24.9%増）、営業利益は8,832,681千円（前年同四半期連結累計期間比30.2%増）、経常利益は9,566,549千円（前年同四半期連結累計期間比25.1%増）、四半期純利益は5,796,611千円（前年同四半期連結累計期間比29.0%増）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。

① トータルパックシステム事業

トータルパックシステム事業におきましては、大型のプロジェクト案件が当初見込より増加傾向にあり、また、特殊浴槽や无影灯、手術室の内装・医療ガス配管などの自社製品の販売が好調であったこと等から堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は53,939,897千円（前年同四半期連結累計期間比31.4%増）、セグメント利益（営業利益）は6,284,026千円（前年同四半期連結累計期間比68.9%増）となりました。

② メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、一部子会社において既存取引先が減少し、また、償還価格引き下げによる取引先からの価格下げ圧力により利益は減少いたしました。一方で、新規取引先の拡大や院内物流の一括受託件数が増加したこと等から売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は78,971,440千円（前年同四半期連結累計期間比17.5%増）、セグメント利益（営業利益）は1,271,991千円（前年同四半期連結累計期間比10.0%減）となりました。

③ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきましては、昨年度実施した老人ホーム・グループホーム運営会社のM&Aにより施設数が増加したことに加え、食事提供施設の展開が進んだことにより売上高は増加いたしました。一方で、M&Aを行った介護施設が構造改革中であることの影響を受け、利益は低調に推移いたしました。また、千葉県白井市に小規模多機能施設「リハモードヴィラ白井」をグランドオープンしたこと、デイサービス事業の新規展開を行ったことから先行費用が発生いたしました。

この結果、売上高は13,931,946千円（前年同四半期連結累計期間比65.9%増）、セグメント利益（営業利益）は470,183千円（前年同四半期連結累計期間比49.0%減）となりました。

④調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、M&Aにより、調剤薬局数が17店増加すると共に、新規店舗出店を進めることで売上高は増加いたしました。一方、薬価改定に伴う医薬卸との仕入価格交渉は厳しい状況にありますが、継続して利益確保に向けた交渉を行ってまいります。また、グループの調剤薬局が一体となった経営効率化も進め、業績確保を図ってまいります。

この結果、売上高は13,021,764千円（前年同四半期連結累計期間比15.8%増）、セグメント利益（営業利益）は1,082,739千円（前年同四半期連結累計期間比14.4%減）となりました。

⑤その他

その他におきましては、動物病院事業が順調に推移いたしました。また、理化学機器の販売も計画どおり進捗し、利益率も改善いたしました。

この結果、売上高は850,415千円（前年同四半期連結累計期間比7.6%増）、セグメント利益（営業利益）は128,746千円（前年同四半期連結累計期間比28.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産は135,275,647千円となり、前連結会計年度末と比べて5,286,002千円増加いたしました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が7,787,470千円減少した一方、現金及び預金が3,902,939千円、のれんが3,880,253千円、短期貸付金が2,367,677千円、商品及び製品が1,087,463千円、仕掛品が1,069,474千円、建物及び構築物が1,049,407千円増加したこと等によるものであります。

負債は95,667,649千円となり、前連結会計年度末と比べて934,316千円増加いたしました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が2,323,594千円、未払法人税等が743,112千円減少した一方、短期借入金が2,930,500千円、長期借入金が1,512,435千円増加したこと等によるものであります。

純資産は39,607,998千円となり、前連結会計年度末と比べて4,351,686千円増加いたしました。その主な要因は、配当金の支払により利益剰余金が1,443,984千円減少した一方、四半期純利益により利益剰余金が5,796,611千円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は29.0%（前連結会計年度末比2.3ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年10月29日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は、軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,268,264	19,171,203
受取手形及び売掛金	51,737,639	43,950,168
有価証券	71,327	30,544
商品及び製品	6,982,476	8,069,939
仕掛品	1,493,513	2,562,988
原材料及び貯蔵品	774,640	784,678
その他	6,302,165	8,181,663
貸倒引当金	△169,303	△119,538
流動資産合計	82,460,723	82,631,648
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,009,183	9,058,590
土地	8,082,514	8,281,464
貸与資産(純額)	51,202	50,007
賃貸不動産(純額)	8,936,935	8,715,279
その他(純額)	1,673,332	1,916,262
有形固定資産合計	26,753,167	28,021,604
無形固定資産		
のれん	6,972,796	10,853,050
その他	481,885	472,365
無形固定資産合計	7,454,682	11,325,415
投資その他の資産		
長期貸付金	6,596,353	6,372,653
その他	8,703,929	8,920,305
貸倒引当金	△1,979,212	△1,995,980
投資その他の資産合計	13,321,071	13,296,978
固定資産合計	47,528,921	52,643,998
資産合計	129,989,644	135,275,647

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,819,761	47,496,167
短期借入金	1,615,000	4,545,500
未払法人税等	1,981,699	1,238,586
賞与引当金	1,302,621	632,378
工事損失引当金	22,768	12,040
その他	13,195,421	12,167,469
流動負債合計	67,937,272	66,092,142
固定負債		
社債	3,108,000	4,436,000
長期借入金	19,369,972	20,882,408
退職給付引当金	1,885,231	1,910,529
資産除去債務	167,434	207,076
その他	2,265,421	2,139,491
固定負債合計	26,796,059	29,575,506
負債合計	94,733,332	95,667,649
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,667,081	5,691,937
資本剰余金	10,036,491	10,061,323
利益剰余金	18,649,996	23,002,623
自己株式	△1,059	△1,059
株主資本合計	34,352,509	38,754,825
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	383,887	444,478
為替換算調整勘定	2,256	45,249
その他の包括利益累計額合計	386,144	489,728
少数株主持分	517,658	363,445
純資産合計	35,256,311	39,607,998
負債純資産合計	129,989,644	135,275,647

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	128,698,726	160,715,464
売上原価	110,177,711	138,485,852
売上総利益	18,521,014	22,229,612
販売費及び一般管理費	11,735,944	13,396,931
営業利益	6,785,069	8,832,681
営業外収益		
受取利息	274,729	245,973
受取配当金	34,007	37,847
負ののれん償却額	494,338	494,338
持分法による投資利益	24,249	21,130
その他	428,139	293,291
営業外収益合計	1,255,463	1,092,581
営業外費用		
支払利息	287,760	263,080
その他	103,570	95,633
営業外費用合計	391,330	358,714
経常利益	7,649,202	9,566,549
特別利益		
固定資産売却益	12,815	6,856
退職給付制度改定益	73,587	—
負ののれん発生益	—	1,258
補助金収入	—	61,669
特別利益合計	86,402	69,784
特別損失		
投資有価証券売却損	1	5,658
投資有価証券評価損	2,837	—
固定資産売却損	—	67
固定資産除却損	84,488	17,623
事業構造改善費用	16,288	90,015
自己株式取得費用	—	61,457
特別損失合計	103,615	174,820
税金等調整前四半期純利益	7,631,989	9,461,512
法人税、住民税及び事業税	2,257,760	3,005,695
法人税等調整額	747,979	585,550
法人税等合計	3,005,740	3,591,245
少数株主損益調整前四半期純利益	4,626,249	5,870,266
少数株主利益	134,003	73,654
四半期純利益	4,492,245	5,796,611

四半期連結包括利益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,626,249	5,870,266
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△894,550	60,590
為替換算調整勘定	△21,211	54,162
その他の包括利益合計	△915,762	114,753
四半期包括利益	3,710,487	5,985,019
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,589,196	5,900,195
少数株主に係る四半期包括利益	121,291	84,824

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル バック システム 事業	メディカル サプライ 事業	ヘルスケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する 売上高	41,049,112	67,217,363	8,396,808	11,245,417	127,908,702	790,024	128,698,726	—	128,698,726
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	839,443	181,383	3,037	456	1,024,320	6,840	1,031,161	△1,031,161	—
計	41,888,555	67,398,747	8,399,845	11,245,874	128,933,022	796,864	129,729,887	△1,031,161	128,698,726
セグメント利益	3,719,601	1,413,188	922,560	1,264,281	7,319,631	100,371	7,420,002	△634,933	6,785,069

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△634,933千円には、セグメント間取引消去7,729千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△647,914千円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、連結子会社であるグリーンホスピタルサプライ株式会社が入社して、シップヘルスケアホールディングス株式会社株式を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象等により「ヘルスケア事業」セグメントにおいて、前連結会計年度の末日に比べ資産が13,773,745千円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、連結子会社であるグリーンホスピタルサプライ株式会社が入社して、シップヘルスケアホールディングス株式会社株式を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象による「ヘルスケア事業」セグメントにおけるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては5,061,985千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル バック システム 事業	メディカル サプライ 事業	ヘルスケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する 売上高	53,939,897	78,971,440	13,931,946	13,021,764	159,865,048	850,415	160,715,464	—	160,715,464
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	883,892	357,379	2,722	—	1,243,994	7,910	1,251,905	△1,251,905	—
計	54,823,790	79,328,819	13,934,669	13,021,764	161,109,043	858,326	161,967,370	△1,251,905	160,715,464
セグメント利益	6,284,026	1,271,991	470,183	1,082,739	9,108,940	128,746	9,237,687	△405,006	8,832,681

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△405,006千円には、セグメント間取引消去49,423千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△454,918千円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、連結子会社である株式会社仙台調剤が株式会社医療サービス研究所株式を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象による「調剤薬局事業」セグメントにおけるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては4,078,749千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

この変更による影響は軽微であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。